

条幅部自由参考

5月25日正午必着

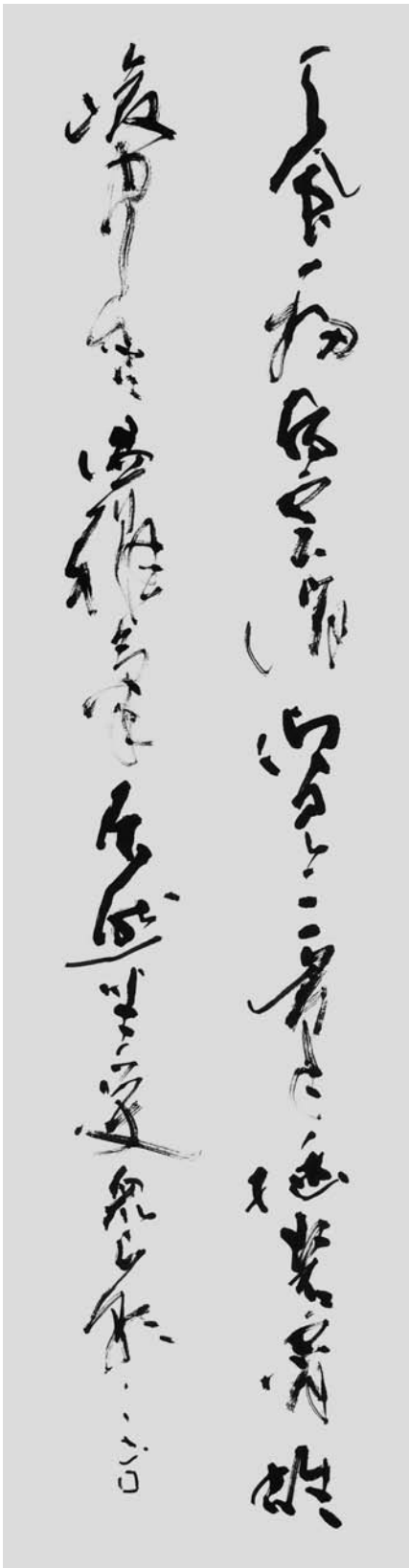
明石春浦先生書



青山前與後
 白雲西又東
 縱有經過客
 消息應難通

(良寛)

叶 澄石先生書



天風一掃宿雲消

仰見三峰插碧霄

雄峻中含溫雅氣

居然坐受衆山朝

(小野湖山)

5月25日正午必着

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

清風 灑修竹 (文徵明)

清風 修竹に灑ぐ

さわやかな風が、背の高い竹にそよぐ。

暮聲夜静客飲酒
花影晝閒人讀書 (俞德鄰)

暮聲夜静かに 客酒を飲み
花影昼間に 人書を読む

暮をうつ音だけがひびく静かな夜 客は杯をかたむける。
花さく閑かな昼 人は書物をひもとく。

題「破山寺後院」 (常建)

破山寺の後院に題す 常建

清晨入古寺 初日照高林

清晨 古寺に入り 初日高林を照らす

曲徑通幽處 禪房花木深

曲徑 幽処に通じ 禪房 花木深し

山光悦鳥性 潭影空人心

山光 鳥性を悦ばせ 潭影 人心を空しうす

萬籟此俱寂 惟聞鐘磬音

万籟 此に俱に寂たり 惟だ鐘磬の音を聞くのみ

五月雨を集めて早し 最上川 (松尾芭蕉)



行春や鳥啼魚の目は泪 (松尾芭蕉)

雨宮春聲先生書

半紙部規定課題A

5月25日正午必着

自 溪
飛 深
鳥

※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

5月25日正午必着

行書

溪深鳥自飛

隸書

溪深鳥自飛

明石春浦先生書

溪深鳥自飛

溪深鳥自飛

草書

行草書

まったく羨ましい、君は身の雑事にわずらわされることなく 日々に、世俗のおもいから遠ざかっていられるのだから 辺鄙なところに住んでいるので、人はめったにやって来ないし 谷間の奥深きところ、鳥はおのがじし飛びめぐる 蓮の葉の老いたるをとって儒服とし 葉草の苗の肥えたのをとって、粗末な食事をされる

もしも湖のほとりに隠棲するつもりがあるのかとおたずねならば いまも共に帰隠しようとする思いを忘れてはいない (と答えますよ)

寄「邪逸人」

鄭常

羨君無外事

日與世情違

地僻人難到

溪深鳥自飛

儒衣荷葉老

野飯藥苗肥

若問湖邊意

而今憶共歸

邪逸人に寄す

鄭常

羨む 君が外事無く

日に世情と違うことを

地僻にして 人到り難く

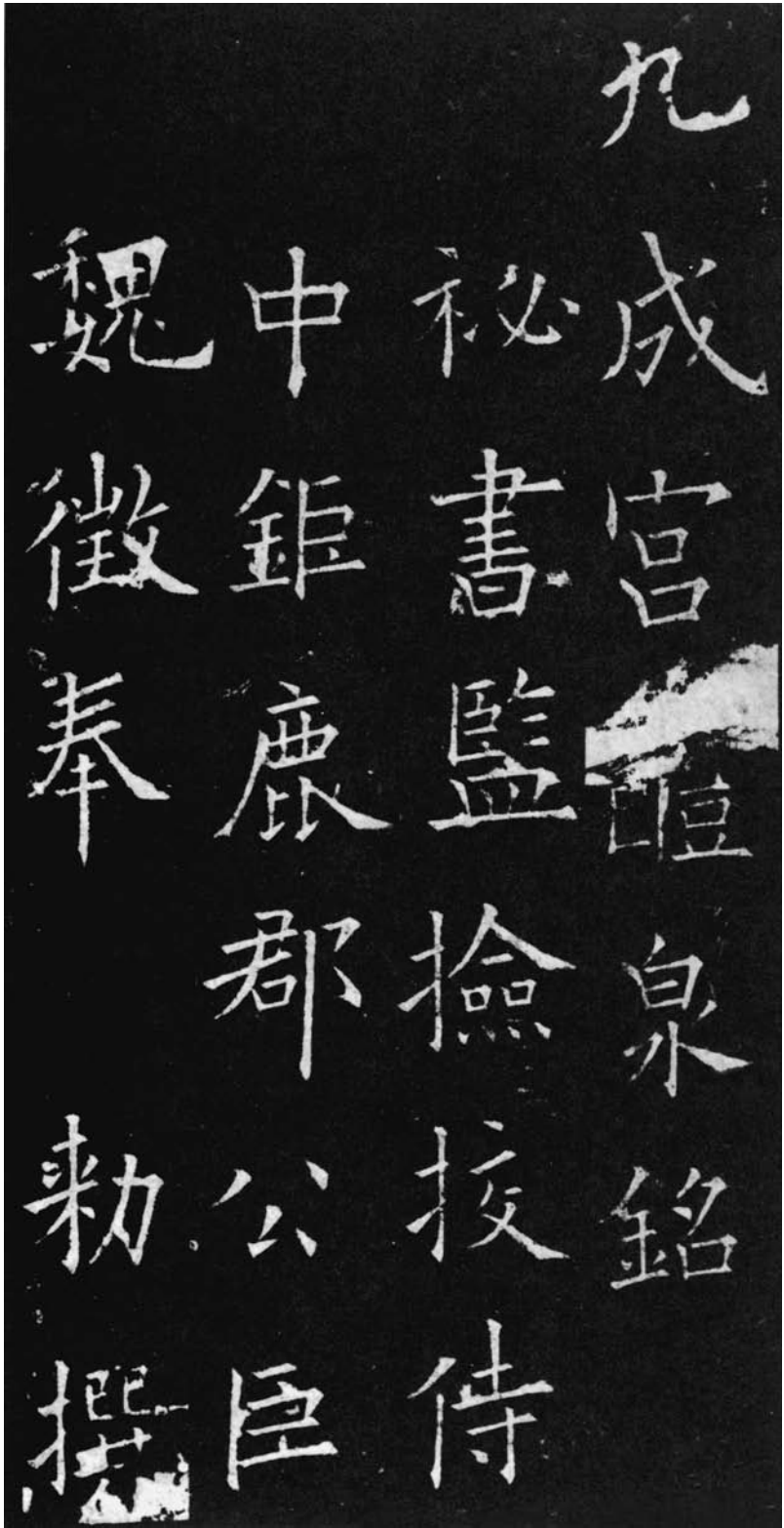
溪深くして 鳥自ら飛ぶ

儒衣 荷葉老い

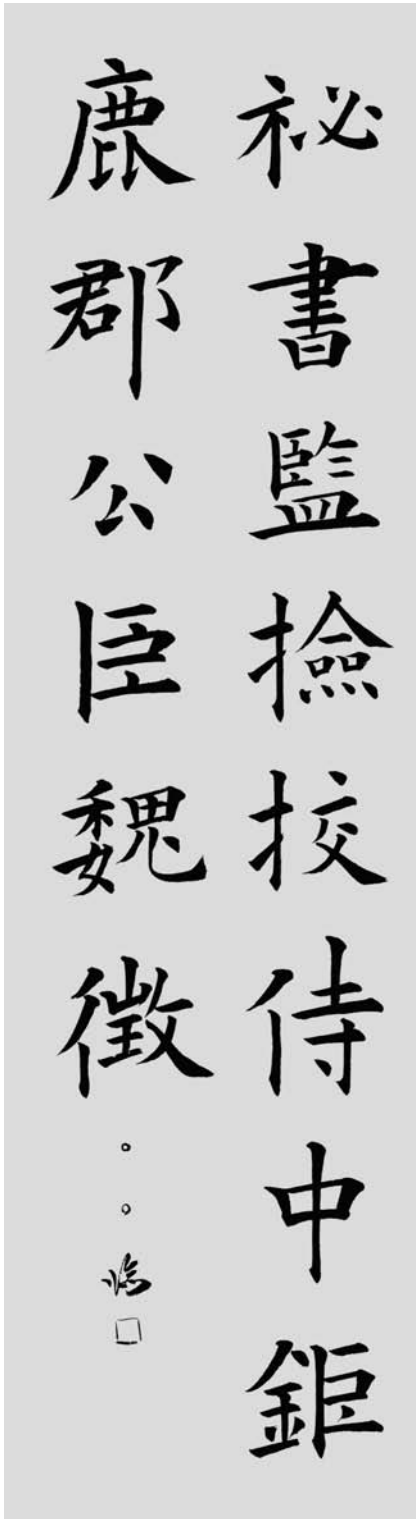
野飯 藥苗肥ゆ

若し湖辺の意を問わば

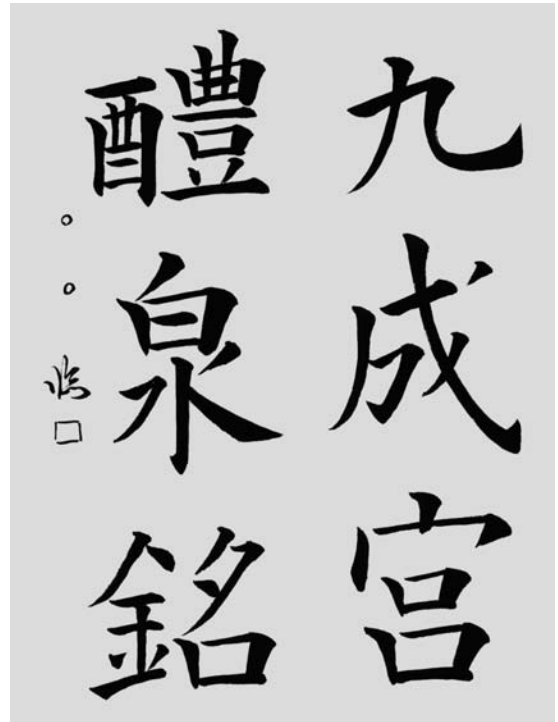
而今 共に帰らんことを憶う



九成宮醴泉銘／秘書監檢校侍／中鉅鹿郡公臣／魏徵奉勅撰



秘書監・檢校侍中・鉅鹿郡公 臣魏徵、



九成宮醴泉銘

歐陽詢・九成宮醴泉銘

高祖の子太宗が国政に着手し、諸制度を改革した唐代は、詩人の李白・杜甫・白楽天や、画の巧みな王維をはじめ、唐の四大家として賞揚される虞世南・歐陽詢・褚遂良・顔真卿など多くの文人や書家が輩出した。それは太宗自身が文物を興し、国力を高めていわれる「貞観の治」と呼ばれる時代をつくり上げたことにもよる。又特に初唐においての書では、古来その類を見ない程の名家が輩出し、書道史上の黄金時代となったが、その法を重んじ、洗練された書が多数残っているのは、官吏の登用試験（科挙）の制定によるのもその理由の一つである。それはどんなにすぐれた書家であっても、楷法に習熟していなければ合格できないものであった。このような時代背景なのだから、楷書が多く見られたのも当然である。

歐陽詢は、幼少のころから聡明で、経書や史書を学び、隋時代には太常博士となり、唐になると高祖に抜擢されて要職についた。高祖の子太宗は、貞観六年の夏、仁寿宮を修理し九成宮とし、避暑地の離宮としたが、宮殿の一隅に美しい泉が湧き出たため、これを記念して碑を建てた。これが九成宮醴泉銘である。歐陽詢の書では最も有名で、結構は背勢をとり、整齐で峻厳、清潔感にあふれ完成した楷書の作品として尊ばれている。

— 幽棲墨濤人 —

5月25日正午必着

教育部毛筆



へん
編

せい
成

中学一年

雨宮春聲先生書



じゅく
熟

たつ
達

中学二三年

菅井松雲先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



ちょう
朝

れい
礼

小学五年

藤井良泰先生書



どっ
独

ほ
歩

小学六年

森戸春濤書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

5月25日正午必着



おん
音

せい
声

小学三年

細谷春誠先生書



でん
電

き
気

小学四年

榎戸春龍先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

い も 小学一年・幼年



藤田幸春先生書

白 い 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

教育部硬筆

ペン字部

草木もよみがえる
雨あがりの朝は庭の

小学五年

みどりの田畑が広が
る風景は見事です

小学六年

しい広々とした水田
まるで絵のようには美

中学

草木のみどりの美し
さは自然の恵みです

一般(級位)

梅が香をたよりの風や吹きつらむ春めつらしく君がきませる(平兼盛)

一般(段位)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

は	あ
	お
そ	い
ら	く
の	れ
い	よ
ろ	ん

幼年

み	花
つ	に
ば	あ
ち	つ
の	ま
む	る
れ	

小学一年

か	赤
わ	や
い	
い	き
く	い
さ	ろ
花	の

小学二年

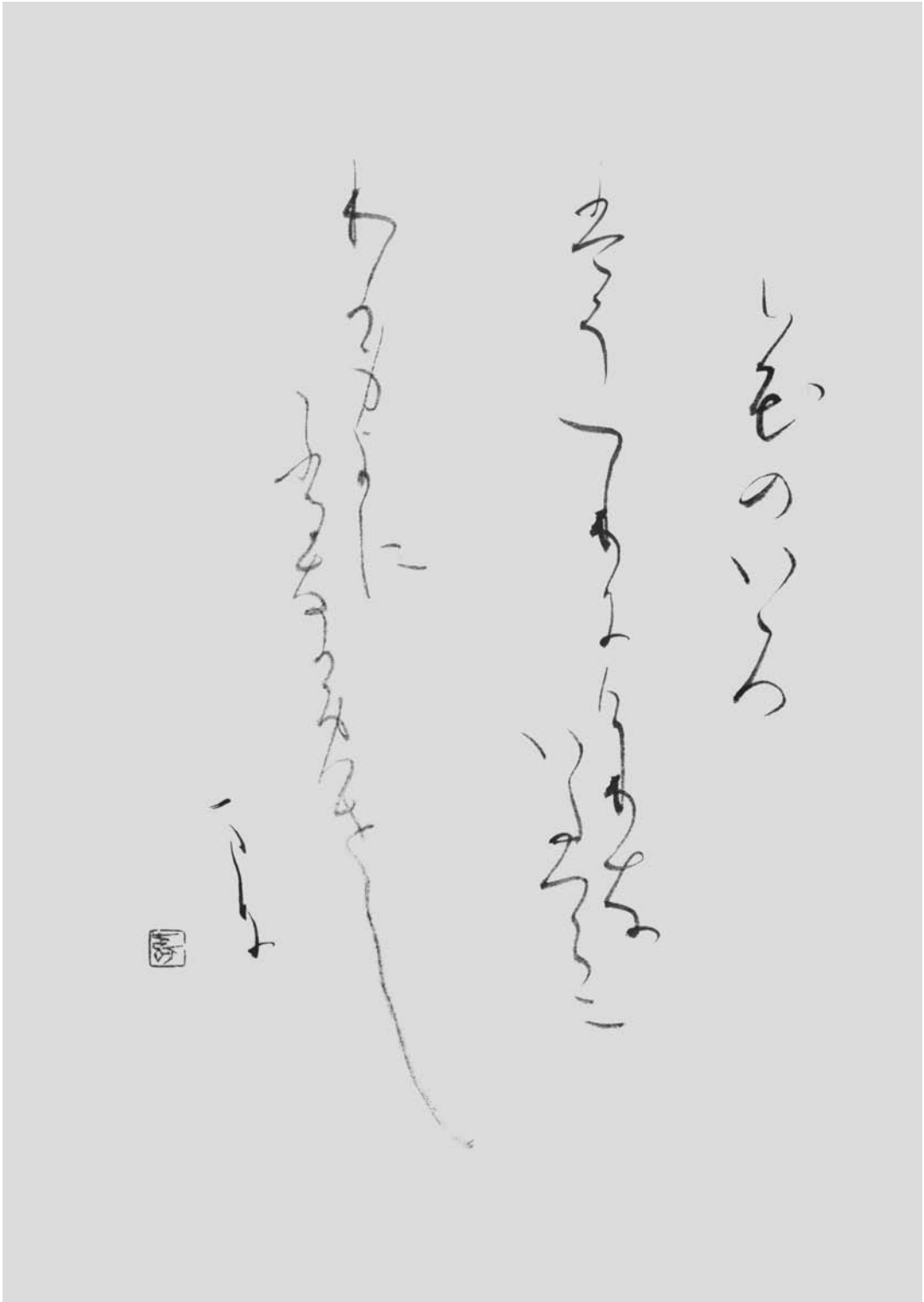
大	こ
空	い
た	の
か	ぼ
く	り
泳	が
ぐ	

小学三年

わ	野
れ	山
て	が
気	み
持	ど
ち	り
が	に
よ	お
い	お

小学四年

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。



花のいろは
 盤 とうつりにけりな
 利 いたづらに
 介 わが身みよにふる
 利 ながめせしまに
 奈 万
 多 可
 二 免
 万 世
 尔 万
 尔 尔
 (小野小町)

岩本景楓先生書